

## 【小中学生の部】 「友達」

南陵中学校3年 吉田マイコ  
(国籍:フィリピン / 2008年来日)

私は2008年11月20日に、フィリピンから日本に引っ越してきました。日本に行くのを聞いた時にびっくりして、最初は行きたくありませんでした。そしてフィリピンの友達と別れるのは、人生で最も嫌でした。フィリピンにいた時は、友達と毎日遊んでいたり、楽しい話をたくさんしました。日本に行く時は、私の親友が家に来て、ちゃんとさようならと言ってくれました。辛くて、タクシーに乗りたくありませんでした。親友といろいろ話をして、「またね!」と言ってタクシーに乗りました。さびしいので泣いてしまいました。

2009年4月には、中学2年として日本の学校に入りました。初めて日本の学校に行くのはすごくこわくて、ドキドキしていました。でもクラスの人達に声をかけられて、がんちゃんとかみさちゃんがいつも話しかけてくれたり、私が困っている

と助けてくれました。大切な友達がたくさん作れて本当にうれしかったです。優しくて元気なあやかちゃんも友達になって本当に良かったです。修学旅行にもあやかちゃんで行きました。友達がけんかをした時には、私が手紙を書いて仲直りができたので本当に良かったです。

友達がいないとつまらないと思います。友達がいると楽しいです。楽しい時は一緒に笑ってくれて、悲しい時は一緒に慰めてくれます。一緒にいると人生は最高だと思います。

私は日本に来て、気づいたことがあります。それは遠く離れていても友達とずっとつながっていられるということです。私はフィリピンの友達が大好きだし、日本の友達も大好きです。これからも今までの友達を大事にして、そして新しい友達をたくさん作りたいと思います。



## 【高校生以上一般の部】 「郡上踊りを見てからの感想」

愛知大学留学生 劉 磊  
(国籍:中国 / 2010年来日)

日本の郡上踊りは400年の伝統文化です。とても悠久な文化です。郡上踊りの大きな特徴は、その開催期間の長さです。お盆を中心に、7月15日の「踊り始め」から9月9日の「踊り納め」まで、実に1か月以上にも及ぶ長い開催期間は、文句なしに日本最長の盆踊り期間といえるでしょう。

最近、郡上踊りに関するビデオを見ました。一番印象に残ったのは狭い町で明け方まで徹夜で盛大に踊り明かします。そして、日本の夏の風情がたっぷりの町です。10種類の曲にも及び、みんな踊りが盛り上がるのに驚きでした。そして郡上踊りは誰もが、つまり観光客も地元の人もひとつ輪になって踊るといふ楽しさがあるのです。知っている人、知らぬ人、みんな喜んで踊っていて、町民も楽しいピークに達し、郡上八幡の町中が人々の熱情につつまれた感じになります。

中国ではこのようなことはめったにありません。中国の伝統文化は日本よりずっと悠久だと言えますが、現在ではある伝統文化のためにこのような盛大な集会はめったに

ないのです。伝統文化は私たちにとって、とても重要なものです。現代社会では多くの人は伝統文化に無関心なのですが、この点では、日本人はもっと伝統文化を尊びます。

7月中旬から9月上旬にかけて三十二夜にわたって踊られるのは、誰でも気軽に参加できるということです。これは郡上踊りの魅力の一つです。

それにしても不思議なことに、この古い伝統文化は子供でも参加したがついていたのです。このビデオでは柚依ちゃんという子供がいます。柚依ちゃんは10歳だけの子供ですが、この盆踊りに強い熱情を持っています。中でも子供のために、ジュニアクラブも成立していました。このクラブでは先生が子供たちに演奏も教えたり、盆踊りの歌も教えたりしているのです。柚依ちゃんはとてもまじめに勉強している様子に感動されました。そして柚依ちゃんの67歳のおばあさんは自分の手で、柚依ちゃんの浴衣を作りました。このことを通して、おばあさんもこの盆踊りに厚い興味を持っていることが分かりました。そして、柚依ちゃんのおばあちゃんも当日踊りに参加して、楽しそうに踊り



ゆたかな地域社会づくりに奉仕する

地元とともに——  
**蒲郡信用金庫**

理事長 吉川敏夫

蒲郡市元町5番8号

☎ <0533> 69-5311 (代)  
<http://www.gamashin.co.jp/>

「とよしん」は、  
ずっとこの街といっしょです。



おたくも うちも  
**豊橋信用金庫**

豊橋市小畷町579番地 ☎(0532)52-0321 (代)  
<http://www.toyo-shin.co.jp>

ました。大おばあちゃんはもう89歳で、とても信じられません。このように見れば、ほとんどの日本人は伝統文化に非常に関心を寄せており、子供にしても、お年寄りにしても、みんなそうです。

今の私たちにとっては、伝統文化はとてもつまらないものです。例えば、私たち若者の中には京劇にあまり興味を持っていない人が多いのです。一つの原因は、私たちは伝統文化を詳しく知っていないからかもしれません。で

も、最も一番重要なのは、教育の不足だと思います。私たちは授業中、伝統文化についての授業はあまりないので、認識が足りないと思います。そしてグローバル化は伝統文化と互いに争っていると考える若者もいます。実はグローバル化と伝統文化は一緒に発展することができます。

私たちは国の伝統文化をもっと了解するべきです。こうしてからよくグローバル化に貢献するのでしょうか。

**第12回日本語スピーチコンテスト** その他の審査結果 2010年10月31日(会場:こども未来館ここここ)

**豊橋市教育委員会賞**

**<小中学生の部>**  
住吉マリヤネ(ブラジル)  
「部活魂」

**<高校生以上一般の部>**  
ガムソム エタヤ(タイ)  
「私の日本での失敗」

特 別 賞

ミユケ カミヌ(ブラジル)  
「日本とブラジルのちがひ」

ケオタムマウオン ラッタナサイ(ラオス)  
「塞翁が馬」

第12回日本語スピーチコンテストは、豊橋みなとライオンズクラブの協賛をいただきました。